

科目の種類	必修	科目名	数学A	学年	3	単位数	2
コース	スポーツコース						
教科書	新数学A 東京書籍						
副教材	ニュージャスト 数学A						
科目のねらい							
<ul style="list-style-type: none"> 身近なことについて、数学的に調べ、対処する能力の向上を目指します。 数学的なものの見方、考え方の素晴らしさを認識し、積極的に活用する力を付けることを目指します。 							
授業の進め方							
<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例題の解説、練習問題を解くという形で授業を進めていきます。 随時小テストを実施し、学習の定着をはかります。 							
より良く学習を進めるためのアドバイス							
<ul style="list-style-type: none"> 考え方を図や表を使って表すように心がけてください。 サブノートを使って授業の学習内容を振り返ってみることが大切です。 必要に応じて宿題を出しますが、自分の力で解くようにしてください。 							
評価方法							
○ テストについて							
<ul style="list-style-type: none"> テスト問題は全員共通問題となります。 出題範囲は、教科書の例題、問い、問題、練習問題、サブノートとなります。 							
平常点について							
<ul style="list-style-type: none"> 小テスト、実力テスト、授業態度・欠席回数・提出物などを点数化して、総合的に評価していきます。 							

学期	学 習 単 元	学 習 内 容 と ね ら い
前 期	1章 集合と場合の数 1節 集合と要素の個数 ① 集合 ② 集合の要素の個数 2節 場合の数 ① 場合の数 ② 順列 ③ 組合せ ④ 組合せの応用 ⑤ 二項定理 2章 確率 1節 確率とその基本性質 ① 確率の意味 ② 確率の基本性質 2節 独立な試行と確率, 期待値 ① 独立な試行の確率 ② 反復試行の確率 ③ 期待値	①集合の包含関係, 共通部分と和集合, 空集合, 補集合の学習をします。 ②和集合の要素の個数を, 共通部分がない場合とある場合に分けて学習します。 ①和の法則, 積の法則を認識し, 樹形図等を用いてその総数を求めることができるようにします。 ②順列の意味を理解し, その総数 $n P_r$ や階乗の計算ができるようにします。円順列や重複順列など, いろいろな順列の計算ができるようにします。 ③組合せの意味を理解し, その総数 $n C_r$ を, 順列との関係によって求めることができるようにします。 ④組分けや同じものを含む順列について学習します。 ⑤二項定理をパスカルの三角形と関連づけて学習します。 ①試行と事象, 事象の確率について学びます。 ②和事象・積事象, 排反事象, 確率の基本性質, 確率の加法定理, 和事象, 余事象とその確率を求めることができるようにします。 ①独立な試行について, 具体例を通してその意味を学習します。 ②反復試行の確率を理解できるようにします。 ③賞金つきのくじの例を通して期待値を求められるようにします。
	第 2 回 定 期 考 査	

後 期	3章 論証 1節 命題と論証 ① 命題と条件 ② 論証 4章 平面図形 1節 三角形と比 ① 三角形と比 ② 三角形の重心・外心・内心 ③ 三角形の比の定理 2節 円周角 ① 円周角の定理 ② 円に内接する四角形 3節 円と直線 ① 円と直線 ② 接線と弦のつくる角 ③ 方べきの定理 ④ 2つの円	①命題と条件, 必要条件, 十分条件, 必要十分条件について学習します。 ②命題の逆と対偶, 対偶証明法や背理法による証明法を学習します。 ①三角形と比の定理, 中点連結定理, 三角形の内角の二等分線と比について学習します。 ②三角形の重心・外心・内心について学習します。 ③チェバの定理・メネラウスの定理について学習します。 ①円の基本性質と円周角の定理を学習します。 ②円に内接する四角形の定理を学習します。 ①円と接線に関する基本的な性質を学習します。 ②接線と弦のつくる角の定理について学習します。 ③円と点の位置関係が異なっても方べきの定理が成り立つことを学習します。 ④2つの円の位置関係について学習します。
	第 4 回 定 期 考 査	